

## おの100で分かった自分とおの100で得た自分

私が、第三回・第四回おの100に参加した中で一番に掲げたことは、自分を知り、その自分と向き合うことで、自分を高めるということでした。おの100は、その目標に対して自分に十分なものを与えてくれる場であったと思います。

私にとっての第三回おの100は、自分を知ることの出来たおの100でした。第三回を終えたときの自分は、確かに成長はありましたが、今思えば、何がなんだか分からない状態で、あっという間に終わってしまったもののように思います。本番に向けて行われる研修で見られた、多くの学生リーダーのリーダーシップ、積極性、独創性に感嘆し、その仲間を通して自分を知ること、自分に足りないものを痛感し、また、自分がどんな人間であるかを確認していた時期のように思います。居慣れた大学とは異なった場所に自分をおき、多くの刺激を得ることで知れた自分。この自分を高めていくにはどうするか？ここにきて、私にとっての第四回おの100が始まることになりました。

私にとっての第四回おの100は、第三回で知れた自分に、目標を与え、それに取り組むことで、新たな自分を獲得しようとするものでした。それは、第三回では受身になりがちであった自分に、積極的に取り組む姿勢が生まれることとなりました。自分から積極的に取り組むことで、受身的に取り組むことと比べ、はるかにストレートにその反応や答えが返ってくる。それを受け止めて、また、新たな自分が生まれる。これは、周りにおの100という共通目標に真剣に取り組んでいる人たちがいるからできるのであり、自分一人では決してできません。自分が疑問に思ったことは、そのままにしないで、疑問であることを伝え、自分の中で解決するまで説明してもらうこともありました。この、「？！」が、自分をおの100に、より積極的に関わらせることにもなりました。おの100で多くの人と出会い、様々な考え方と触れ合う中で、自分の視野も広がりました。そのことは、今の自分の財産になっているように思います。

おの100で本当に多くの学びや感動を得ましたが、私にとってのおの100は、それらを通しての自己の追求と獲得が非常に大きなものでした。このことは、私にとっては社会に出る時に、大変重要なものです。私は社会に出るにあたっては「自分はいかなるものか」を追求することがとても重要だと考えるからです。社会に出た時に重要になる積極的に自分を成長させる意欲は、自分の発見 目標の発見 新たな自分の獲得というサイクルによって出てくるものだと思います。自己の追求はこの基礎になります。このことを、おの100の中で、身を以って経験できました。私は、おの100で多くの人と関わり、それによって、これらのことを学びました。これをもとにして、社会に出てからも、励んでいきたいと思いません。

以上のことを考えられたのも、おの100があったからこそであり、おの100にいつでも真剣に取り組んだ仲間たち、笑顔で支えてくれた子どもたち、温かく見守ってくださった地域の方々、おの100に関わるすべての人に感謝をします。